

メンバーズ

堀内 大示さん (R-267)

チェロの日乗

たとえアマチュアのチェロ弾きであっても、なぜチェロを弾き続けるのかについて思い悩むことがあります。あるいは生活の糧ではないからこそなおさらなのかもしれませんが。量的オーバー、実力を大きく超える曲、それらはごく一瞬の深さのある喜びを押しつぶしかねない長い長い時間との向かい合いを余儀なくします。

“one day at a time” という言葉をご存知でしょうか？

語義は一日一歩、目の前にあることに着実に取り組む、その日を精一杯生きる、また新約聖書では、その日を思いのままに生きる、といった意味で使われています。ジョン・レノンには同名曲がありますが、それは恋人に呼びかけるかのように、愛の育みを歌ったものでした。

仕事でも生活においても、いろいろお試してみられたらので、今年の残り4回ほどあるコンサートは、この言葉で心持ちを変えて、思いのまま、楽しく、自分らしいベストを探っていきたいと思っています。

” One day at a time.”

事務局からのお知らせ

チェロサロン開催報告

日時：2016年7月24日（日）
会場：サントリーホール・リハーサル室
講師：向山佳絵子さん
参加者：46名（アンサンブル：28名、聴講11名、関係者7名）
アンサンブル曲：クレンゲル『讃歌』、
スーザ『星条旗よ永遠なれ』

★チェロサロンを受講して★

この度は向山先生の クリニックを受講する機会をいただきまして、本当にありがとうございました。昨年10月、シュテファン・コンツ先生のアンサンブルセミナーに参加しましたが、とても楽しく勉強になりましたので、またこんな機会があれば是非参加したいと思っていました。

今回の個人レッスンは抽選と聞いておりました。まさか自分が受講できるとは思わず、決まった時には正直、自信がなくて不安になりました。

当日の参加者は大人ばかりで、中学生はおそらく自分一人だったので、場の雰囲気に圧倒されとても緊張しました。

向山先生には初めてお目にかかりましたが、颯爽として力強い、不思議な魅力を感じました。たった5分程度の演奏を聴いただけで、指の力の弱さなど、自分の弱点は全てお見通しで、的確かつ丁寧に教えてくださいました。いつも指導していただいている先生とはまた違った角度から見ていただくことで、新しい発見もあり、いつも指摘される反省点あり、短いながら充実した時間を過ごすことができました。

その後、アンサンブルのレッスンでは大勢の参加者の中でリラックスして弾くことができました。これだけ大勢の大人の



方々と弾いたのは初めてでしたが、皆さん実に楽しそうに生き生きと演奏されている様子が印象的でした。チェロだけの編成のためか、普通の弦楽合奏とは違うある種の一体感を感じました。自分が大人になっても、こうしてチェロ仲間と楽しく演奏する贅沢なひと時を持ちたいと思います。

S-167 小粥 麻莉菜

■日本チェロ協会20周年記念イベント開催決定

日時：2017年11月19日（日）

会場：サントリーホール・ブルーローズ

※詳細は別途ご連絡いたします。ぜひ今からご都合を調整頂けると幸いです。皆さまにお会いできることを楽しみにしております。

■ご住所・メールアドレス変更についてのお願い

事務局からお送りするお便り・メールが住所・宛先不明で戻ってきてしまうことが度々ございます。ご住所・メールアドレスを変更された場合は必ず事務局にご一報下さい。

また、DM便発送の際はクロネコDM便を利用しております。表札をお出しになっていない方は宛先不明となりますので、併せてお知らせ頂けると幸いです。

編集後記

今年の夏は急な気温の上昇や台風の発生、また秋にかけては気温差の激しい日が続き、珍しく風邪をひいてしまいました。そんな中、チェロ協会の活動は7月～8月中とても活発で、どのイベントも充実した時間となりました。改めてチェロという楽器を通じて人々が集って共に弾き、また未来に向けて語らうことはとても素晴らしいことだと感じております。来年チェロ協会は20周年を迎えます。これまで築き上げてきたものを大切に、さらに発展していけるよう精進して参りますので、皆さまと心をつなげていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

佃 香菜子



JCS NEWS

日本チェロ協会会報 第47号 （2016年10月20日）

第7回チェロの日開催予定 平成29年1月28～29日、今年はJTアートホールで

日本チェロ協会は、平成29年1月28日から29日にかけて、第7回チェロの日を開催します。例年、サントリーホール（港区）で開催してきたチェロの日ですが、同ホールの大規模修繕に伴って今回は初のJTアートホール（港区）での開催となります。

1月28日に開催される「チェロと仲良くなるコンサート」には、3名のチェロ奏者が登場。高橋麻理子さんがマンドリン奏者の堀雅貴さんと共演するほか、中木健二さんは永田美穂さん（ピアノ）と共にドビュッシーの「チェロとピアノのためのソナタ」を、さらに山本裕康さんが諸田由里子さん（ピアノ）と共にベートーヴェンの「チェロソナタ第2番」を演奏頂きます。

今回のチェロの日でも「チェリストの集い」参加者を募集。スペースの都合上チェロ・オーケストラによる演奏は困難ですが、複数のチェロ・アンサンブル・チームを編成、プロの演奏家による指導を受けながら、1月29日に開催される「チェロ・アンサンブル・コンサート」に臨みます。チェロ・アンサンブル・コンサートには、チェリストの集い参加者によるアンサンブル・チームの他にも、スーパーメンバーによるチェロ・アンサンブル演奏も予定されていますので、是非ご期待下さい。

イベントの詳細・プログラム・チケットのお求めは、「チェロの日」特設サイトでご確認下さい。

第7回チェロの日 チェロと仲良くなるコンサート

日時：1月28日〔土〕 14:30開演

会場：JTアートホール アフィニス

出演：高橋麻理子、中木健二、山本裕康（以上Vc）、
堀雅貴（マンドリン・マンドロンチェロ）、
永田美穂、諸田由里子（以上Pf）

チェロ・アンサンブル・コンサート

日時：1月29日〔日〕 14:00開演

会場：JTアートホール アフィニス

出演：牟田口遥香、香月麗（以上Vc）、
チェリストの集い参加者

「チェロの日」特設サイト

<http://celoday.cello-congress.com>

マリオ・ブルネロ チェロ・マスタークラスを開催します

日本チェロ協会は11月、イタリア出身のチェロ奏者マリオ・ブルネロ氏を迎えて、チェロ・マスタークラスを開催します。今年のマスタークラスでも、音楽大学生など将来プロとして活躍を目指す若きチェロ奏者を対象として受講生を募集します。このマスタークラスはどなたでも聴講頂く事ができます。なお、会場の都合上、定員は80名となり、先着順で受け付けを行います。



マリオ・ブルネロ チェロ・マスタークラス

日時：平成28年11月22日（火） 19:00 ～ 21:00

会場：汐留ベヒシュタイン・サロン

聴講：（会員）無料 （一般）2,000円

申込：日本チェロ協会にメール、またはFAXでお申し込み下さい

メール：office@cello.gr.jp / FAX：03-3582-1310

■講師Profile

マリオ・ブルネロ Mario Brunello, Cello

1986年チャイコフスキー国際コンクール優勝。ゲルギエフ、シャイー、ムーティらの指揮のもと、ロンドン・フィル、ミュンヘン・フィル、フィラデルフィア管など世界を代表するオーケストラと共演している。またアバドとの関係は長年にわたり、ルツェルン祝祭管にメンバーとして度々招かれてきた。室内楽ではクレメール、アルゲリッチ、F.P.ツィンマーマン、アルバン・ベルク四重奏団などと共演。これまでにJ.S.バッハの無伴奏チェロ組曲、ブラームス、ベートーヴェン、ショパンのチェロ・ソナタ、そして無伴奏チェロのための現代音楽作品を録音している。近年の主な活動としては、パッパノー指揮サンタ・チェチーリア管との共演及びレコーディング、クレメラータ・バルティカとのツアー（指揮およびソリスト）などが挙げられる。使用楽器は1600年代に製作された「マッジーニ」。

JCS NEWS 第47号 コンテンツ

❶ 第7回チェロの日/マスタークラス

❷・❸ 特別インタビュー

❹・❺ Cellists' update

❻ アウトリーチ報告/第10回総会報告

❼ コンサート情報

❽ メンバーズ/チェロサロン報告/事務局から

日本チェロ協会会報（JCS NEWS）第47号 2016年10月20日発行

発行：日本チェロ協会 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル22階 私書箱509号
電話 03-3505-1991 FAX 03-3582-1310 E-mail office@cello.gr.jp

発行人：堤 剛 編集：日本チェロ協会事務局 編集協力：三和プリンティング(株)

佐藤晴真さん・森田啓佑さん特別インタビュー

第6回チェロの日にご出演頂いた佐藤さん・森田さん、音楽家として歩みはじめる若きお二人のいままでとこれからについて伺いました。

(聞き手：事務局渡邊亮)



“兄弟揃ってチェロやりたいって言いだしました” (佐藤)

【渡邊】さて、改めてですが、お二人が音楽を始められたきっかけを伺いたいと思います。佐藤さんの場合は、4歳にヴァイオリンを始められたのですよね。始めたきっかけというのは？

【佐藤晴真さん (以下「佐藤」)】兄がヴァイオリンを始めていて、ヴァイオリンをやっている兄が出演する発表会を聞きに行っただけです。その時に、植村太郎さんと中木健二さんがゲスト出演みたいな感じでヴァイオリンとチェロのパスサリア弾かれて、それを聞いたときに、兄弟2人揃ってチェロやりたいって言いだしました。

【渡邊】へえ！

【佐藤】これは大変だってなって、兄がヴァイオリンからチェロに変わって、僕は何もやってなかったのですが、2人一気にチェロっていうのもなんだし、取りあえずヴァイオリンをはじめました。1年半ぐらいたったときに、兄がC durの和音をジャジャンっていうのを弾くのを覚えて、それを聞いた家族中が、やっぱりチェロいいね、みたいな雰囲気になりだして、それでようやく6歳のときにチェロに変わったっていう経緯があります。

【渡邊】森田さんは3歳からチェロをはじめられた。

【森田啓佑さん (以下「森田」)】はい、正確には2歳8か月だそうです。

【渡邊】きっかけはありますか。

【森田】きっかけは、同じく兄がヴァイオリンをやっていて、自分では覚えていないのですが、僕もやりたいと言い出したそうです。そのとき、兄の先生が「兄弟2人で楽器が違うと世界も広がるよ、チェロはどう？」とおっしゃられて、チェロを習うことになりました。そして八王子の才能教育の教室で佐藤明先生にお世話になりました。

【渡邊】才能教育ですと、楽譜を読むというよりも、最初はむしろ覚えて弾くことが多いのですか。

【森田】聴いて覚えて、ですね。

【渡邊】そういう意味では楽譜を読むって、例えば音楽高校に進むとなったら、ある程度楽典もできなきゃいけないじゃないですか。そういう楽典的な部分っていうのは勉強されましたか？

【森田】音符は読めたのですが、音楽高校に入る前は自分では本当に何もしてなくて、よくわからない状態で受けました。ただ、中学のときに音教(注：桐朋学園大学音楽学部附属 子供のための音楽教室)は行ってたので、そこで一応勉強はしました。

【渡邊】佐藤さんは、チェロの最初の先生は林良一先生、チェロ協会でもお力添え頂いている林裕先生のお父さま、ですよね。

【佐藤】はいそうです。僕は、チェロを始める初歩の段階で、林先生がちっちゃい子向けの、楽しく楽譜を読めるようになるみたいな教材で教えてくれました。例えば全音符が象で、二分音符が牛で、四分音符が犬。八分音符がねずみ、というふうに。林先生自身もちっちゃい子から教えられる先生で、そこで割と楽譜の読み方っていうか、本当に初歩的なことから教わった感じですね。でも楽典とかは全然やってなくて、聴音だけは中学3年からソルフェージュの先生のところに1年間通いました。

【渡邊】音教って、音楽高校に進もうって人が多いと思うんですけども、佐藤さんの近くで音楽高校に進もうという人たちは、身近にいらっしゃいましたか。

【佐藤】僕自身、青少年オーケストラに入っていて、その周りには結構音高生もいたし、音高を目指す人もわりといましたね。

【渡邊】小・中学校は、一般の学校に通われていたのですか？

【森田】小学校は地元の公立に通いました。音楽の道は考えていなくて中高一貫校に進んだのですが、途中で方向転換して音楽高校に入り直しました。

【渡邊】普通の学校だと、特に男の子の場合って音楽をやっている仲間はそんなに多くないですよね。そういう意味では仲間が近くにいないこととかに不便さがありましたか？

【森田】なかったですね。クラブチームと部活動でずっとサッカーをやっていてプロになるつもりだったので、学校に行くとチェロの意識がなくなって。チェロ仲間がいなくても、別にいいかな

と想着て。

【佐藤】僕は音楽の仲間は学校にはいなかったですけど、音楽なしでも楽しくやってられたので。

【渡邊】音楽以外、他に何かやってました？

【佐藤】小学校のときは、サッカーと野球は入ってたんですけど、中学は、帰宅部ですね。部活以外だと、わりと長い間、スイミングと、あと、近所の書道教室には友達何人かと通ってました。

“サッカーに専念してみたら、 気持ちがチェロに戻ってきて” (森田)

【渡邊】音教に行くっていうのは、音楽で生きていくっていうほうに、一つのステップとしてちょっと近づきますよね。

【森田】近づきましたね。

【渡邊】そのときに、どこまでご自身でそのことを意識されていましたか？

【森田】僕は、全然意識してなかったんです。そのときは全く(音楽の道に)進む気がなくて、でも親が「方向は狭めない方がいいから」って、その時は行かされていたみたいなきもちだったんですけども、結果的には良かったですね。

【渡邊】結果的にそれが生きた、ということですね。そのときの仲間とは繋がっていますか？

【森田】今もずっと一緒ですね。

【渡邊】佐藤さんは、高校に進む前の段階から林先生につかれ



ていた訳ですね。音楽高校に進むというのが、ご自身の中で選択肢として芽生えたのはいつ頃ですか。

【佐藤】中2の夏頃です。僕自身は学校で決めたいというより、(師事する)先生で決めたくて、山崎伸子先生に教わりたかったので、必然的に藝高(注：東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校)に行くことを考え始めました。

【渡邊】山崎先生につきたいと思った、きっかけはなんでしょう？

【佐藤】その頃、ちょうど山崎先生の演奏会があって、横浜まで行ったんですね。それで、素晴らしくて。

【渡邊】もうこの先生につきたいと。

【佐藤】そうですね。

【渡邊】森田さんは？

【森田】僕はさっきの話のとおり、全然進む気がなかったんです。中学の3年生の夏にサッカーの大きな大会があって。その時に倉田先生が、「この夏はチェロを出さないで、思い切りボー

ルを蹴って真黒になっていっちゃい！」って仰ってくださったんです。倉田先生ご自身も、僕がチェロを続けるのか、サッカーを選ぶのか分からなかったらしくて。夏の間、チェロを弾かずにサッカーに専念したら、秋頃になって僕の気持ちが振り子のようにチェロに戻ってきて。

【渡邊】いきなり変わっちゃったっていうのは何故？

【森田】多分、ひと夏の間、僕なりに考えて、意識して試合をこなしていくうちに、サッカーの限界が見えたのだと思います。それまではサッカーとチェロという二つの景色の中にいたけれど、サッカーに専念してみたことで見えてきたものもあって。

【渡邊】それまではそこまでチェロを楽しいとは思わなかった？

【森田】サッカーのほうが楽しかった。チェロも良かったんですけど、それより全然サッカーのほうが良くて。

【渡邊】何か、特に具体的なきっかけがあったわけではなくて？



【森田】僕の気持ちの中には、山中湖の楽しかった思い出も残っていて、それが一つのきっかけかもしれないです。夏の倉田先生のマスタークラスのことです。中学1年生の時は晴真も一緒に。その時はチェロというより、夜が楽しくて。

【佐藤】分かる！

【森田】あと倉田先生が、レッスンのときに2回に1回ぐらいお茶を出してくださって。

【渡邊】カフェ澄子だ！

【森田】それです。カフェ澄子。それが良かったです。

【渡邊】モチベーションの部分、興味深いですね。音楽高校に進む前の段階のときに、チェロを練習する時間とあって、楽しい時間でしたか。それとも苦しい時間のほうが多かったですか？

【森田】ずっとちっちゃい頃からやっていて、別に苦しいとか楽しいとかはなく習慣になっていて。

【渡邊】なるほどね。じゃあ、もう生活の一部になっていた。

【森田】はい、なっていました。

【佐藤】僕も楽しいとかじゃなくて、一応年に1回のコンクールには出るっていう、流れが何となく自分にもあって、コンクールに関しては、それに向けて、楽しいとは違って、目標に向けて練習する中での達成感とか。それと、新しい曲に入る時に、林先生は、自分のやりたかった憧れの曲をどんどんやらせて下さって。それもモチベーションに繋がってました。

(次号に続く)

上村 昇さん (R-103)

Noboru KAMIMURA

1. 近況を教えてください

8月末まで、長野県松本で毎年開催されている「Seiji Ozawa Matsumoto Festival」に参加していました。9月は25日の室内楽コンサートの準備にかかるまで、しばらくは夏休みです。

2. チェロを始めたきっかけを教えてくださいますか？

父が京都市交響楽団のチェリストだったので、小学校1年生の時に父の手ほどきで始めたのですが、練習がいやで二年ほどでぶつ切りと止めてしまいました。その後は高校までビートルズにはまっていましたが、大学受験直前に再開することになります。実はジャズをやりたいくて音大に入ろうと思い立ち、弦楽専攻チェロ科で京芸を受験したのです。ちょうど入試の4ヶ月前、ビートルズの映画「レット・イット・ビー」を見た後、無我夢中で受験準備に取りかかりました…浪人は覚悟でした。奇跡的に合格、入学後は黒沼俊夫先生のレッスンが楽しくて、また音楽の素晴らしさにも目覚め、とにかくできるところまでやってみようと、チェリストを目指すことにしました。

3. 一番ワクワクするときは、どんなときですか？

松本でのフェスティバル期間中のオフの日、上高地散策に行く朝一番の電車で揺られている時です。

4. チェロ以外に好きなことはありますか？

レオンハルトのバッハを聴く事、蒲団の中で志ん生の落語を聴きながら眠りにつく事です。

5. プロのチェリストを目指している学生や若いチェリストに望むことはありますか？

黒沼先生の言葉をみなさんにも…「常にお客の身になって弾くこと」…これを徹底して実現するのは意外に難しいですよ。もうひとつ、演奏するには様々な要素が必要ですが、技術面、表現面ともに試行錯誤を繰り返しながら



らも、少しずつ自身のスタイルを見つけていってほしいと思います。

【演奏会情報】

ALTI芸術劇場 Vol.31 京都アルティ弦楽四重奏団 第20回記念演奏会

日時/2016年11月5日 15:00開演

会場/京都府民ホールアルティ

料金/一般:4500円 学生:3500円 プレミアム席:5500円

(日本庭園に囲まれた茶室にてお茶・お菓子サービス付)

出演/豊嶋泰嗣、矢部達哉(Vn)、川本嘉子(Va)、上村昇(Vc)

《ゲスト》原田禎夫(Vc)

曲目/モーツァルト:弦楽四重奏曲第18番イ長調(K.464)

シューベルト:弦楽五重奏曲ハ長調(D.956、Op.163)

間/京都府民ホールアルティ 075-441-1414(9時～18時/第1・第3月曜日休館)

【CD情報】

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第15番

演奏:アルティ弦楽四重奏団

豊嶋泰嗣、矢部達哉(Vn)、川本嘉子(Vla)、上村昇(Vc)

録音:2015年3月25～27日 水戸芸術館 コンサートホールATMにて収録

日本を代表する弦楽奏者が集まって結成された、アルティ弦楽四重奏団の2枚目となるアルバム。豊嶋泰嗣、矢部達哉、川本嘉子、上村昇といった当代一流のコンサートマスター、ソリストたちによる日本最高峰のカルテットです。前作ではベートーヴェンの弦楽四重奏曲第14番と第16番を取り上げ、圧倒的な説得力のある演奏を披露し、各方面で絶賛されました。今作では、同じくベートーヴェンの第15番を収録。この2枚によって、ベートーヴェンが生涯のほぼ最後に書き上げ、まさに楽聖が最後に辿り着いた渾身の弦楽四重奏曲の世界を体現します。充実したサウンド。温かみがあり作品への敬意が窺み出るような美しいアンサンブルを聴かせます。日本の第一線で活躍している彼らだから表現できるベートーヴェンです。確固たる自信が漲り、全身全霊で表現する世界観。最高峰の弦楽四重奏をお楽しみ下さい。(引用:Octavia Records Inc.)

田中 雅弘さん (R-356)

Masahiro TANAKA

1. 近況を教えてください

7月の半ばから8月23日までずっと西の方へ演奏旅行に出かけておりました。38年間、続けていますので、実は長いこと東京の夏というのを経験していないのです。

最初の10日間は山口で“音楽セミナー/田中雅弘の音楽旅日記XIV”というお話と演奏をして参りました。地元の方が大勢参加されるイベントとなっていて、14回目となる今回は、昨年の都響ヨーロッパ公演についてや、18歳でウィーンの舞台を経験したこと、37年ぶりに今度は都響の首席として舞台に立った時のこと等話をしました。

続いては第1回から携わっている“霧島音楽祭”に7月15日～8月7日の日程で行ってきました。今年も国内外から沢山のアーティストが出演、指導にあたり、受講生も日本の他、中国、台湾、韓国から集まってきました。「チェロ・オーケストラ」の演奏では、8人～32人の編成で演奏し大変盛り上がりを見せる演奏会となりました。

私はチェロのクラスその他、室内楽クラスを持っているのですが、ドイツのミュンヘン国際音楽コンクールの弦楽四重奏部門で「カルテット・アマービル(桐朋学園大学生ら)」のメンバー(チェロは笹沼樹さん)が見事三位に入りました。これは私にとってとても嬉しいことですし、今後の活躍が益々楽しみです。

その後は博多のアクロスで景山誠治さんと一緒に弦楽合奏、今はやっとな帰宅して一息入れているところですよ。今後は、帯広でのセミナーや岩手県

2. チェロを始めたきっかけを教えてくださいますか？

父親が音楽家(山口で音楽教師をしていました)だったので、時代(第二次世界大戦の頃)的な背景から音楽家としての人生が閉ざされてしまいました。高齢だった父は、音楽に対する情熱が素晴らしく、音楽を始めるきっ



かけを与えてくれました。3歳からピアノ、ヴァイオリンもやりましたが、チェロは8歳から始めました。東京音楽学校を出られた女性の方からチェロの手ほどきを受け、桐朋の音楽教室(広島分室)に通っておりました。藝大1年の時に景山誠治さんと出会い、また小山実稚恵さんが同級生におりましたので、チェロをプロとして続けていくターニングポイントとなったことは言うまでもありません。

3. プロのチェリストを目指している学生や若いチェリストに望むことはありますか？

先ほども申し上げましたが、霧島音楽祭では、日本と中国と台湾と韓国のチェリストが一堂に会すのはとても珍しいことだと思います。しかしながら、せっかく日本で開催している音楽祭にも関わらず、海外のチェリストに対して積極性が足りない様子がうかがえ、残念なことだと感じています。若いうちから色々な刺激を受けるためにもっと活発に交流の場を増やして、親睦を深めてほしいと強く感じました。日本人は昔からシャイとは言われていますが、同じチェリストとしての「仲間として」関わるができるならば、これほど自分の財産になることはないと思います。きっと人間的な成長に繋がるはずですよ。

【演奏会情報】

第16 回防府音楽祭「ほうふニューイヤーコンサート 2017」

日時/2017年1月6日(金)～9日(月・祝)

会場/アスピラートほか防府市内各所

料金/6日(金)9ヶ所での公演全て無料、7日(土) 無料

8日(日)指定席2,500円、自由席[一般]2,000円/[高校生以下]500円

9日(月・祝)指定席3,000円、自由席[一般]2,500円/[高校生以下]500円

曲目/8日:オルガンの響き J.S.バッハ:「トッカータとフーガ ニ短調 BWV565」、唱歌「早春賦」、すぎやまこういち&東京メトロポリタン・プラス・クインテット、ほか

9日:メサイアより抜粋、サン＝サーンス:交響曲第3番、ほか

間/アスピラート 0835-26-5151

幸田 有哉さん (R-278)

Yuya KODA

1. 近況を教えてください

現在は、名古屋フィルハーモニー交響楽団に所属しながら、弦楽四重奏などの室内楽、またレッスンなどをして楽しくチェロの活動をさせて頂いています。また最近は、子育てに奮闘中で、家でもプライベートでもバタバタの毎日です。

2. ご自分のお子さんには音楽の道へ進んでほしいと思いますか？

子どもは二人おりまして、上の子が3歳で下の子が1歳で、今保育園に通っています。

今は特に楽器をしてほしいとは思っていません。様々な考え方がありますが、親とは違う世界、親の影響を受けない世界で、広い視野を持って自分の力で道を広げていてほしいです。もちろん音楽は好きでいてほしいという気持ちはありますし、今は歌うのが好きなようなので、一緒にチェロで弾いてあげたりしています。とりあえず今は、新幹線の運転士になりたいそうです。

室内楽で演奏会をされる時、どのような点を考慮して選曲をされていたりしますか？

私の場合、室内楽に限らず、プログラムを考える際にはまず、依頼先の要望や聴衆のニーズを踏まえて、音楽会に何が求められているかという点を考慮しながら、その上でテーマを決めます。同じ時代の作曲家や、編成など決める事で、音楽会全体として聴きやすくなると思うのです。しかし、あまりニーズやテーマに縛られても堅苦しくなるので、バランスを見ながら自分自身が弾きたい曲(特に勉強したい曲を中心に)に取り組むのが1番良いと思っています。

チェリストになろうと思ったきっかけを教えてください。学生の頃は、ただひたすら音楽をやりたい、仲間と色々勉強したいと思ってやっていたので、将来の事はなんとなく・・・程度で、「プロ」になるという事はどういう事かあまり考えていなかったかもしれません。音楽家にとって「プロ」とは、資格があるわけでもなく、演奏会をやればプロといえるのか、音大を卒業すればプロなのか、お金を稼げばプロなのか、と定義は難しいのです。

中学2年の時、夏期講習で講習会に参加し、同年代の仲間ができて、色々な刺激を受けました。(そこで出会った高木慶太さんや奥泉貴圭さんも現在活躍しています)その後、岩崎先生に習う機会があり、「プロとは音楽に責任を持つ事だ。」と言われて、そこから色々考えるようになりました。



3. チェロ以外に好きなことはありますか？

チェロ以外に好きなことですが、美術館に行くのが好きです。絵画は音楽と違い、眼から入る芸術なので、音楽をしている時とは違う感覚に陥り、とても良い気分転換になります。また、美術館の落ち着いた空間も好きです。最近は忙しくてなかなか行けていないのですが。

4. オーケストラでチェロを演奏される醍醐味は何ですか？

言葉にするのは難しいのですが、1人1人が人格、価値観、年齢、学んできた環境、しまいには楽器まで違う、それが室内楽のような少人数ではなく、何十人も集まって、一つの作品を作るという、一見無謀にもみえる事をやっているのがオーケストラです。その中で、チェリストとして、どのようにオーケストラ全体や作品に影響を与えるかを追求する、それがとても面白いです。

5. 年間、何曲くらいの演奏をされていたりしますか？

数えた事はないですが、オーケストラだけで100公演ほどは弾いていると思います。あと、ソロや室内楽となると・・・正直わかりません。

6. 今後どのようなチェリストとして活動していきたいか教えてください。

正直、この答えは模索中ですが、色々なことが出来るチェリストになりたいと思っています。特にオペラ(所属してから6年目)は所属していないとできないことが多いので続けていきたいと思っています。そして、良い音楽を常に続けたい、広い視野で音楽を深めたい、良い音楽を探し続けたいと思っています。

【演奏会情報】

名古屋フィルハーモニー交響楽団

中部の雄“名フィル” 新音楽監督と大阪初上陸

創立50周年記念 大阪特別公演

日時/2016年11月20日(日)15:00開演

会場/ザ・シンフォニーホール

料金/S席:¥6,000 A席:¥5,000 B席:¥4,000 C席:¥3,000

Y席:¥1,000(24歳以下・当日券のみ)

出演/小泉和裕(指揮/名フィル音楽監督)、ゲルハルト・オピッツ(ピアノ)

曲目/ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番変ホ長調 作品73「皇帝」

バルトーク:管弦楽のための協奏曲

間/名フィル・チケットガイド TEL. 052-339-5666

自分が所属してから、東京、大阪公演は初めてなので、とても楽しみにしてます。

水野 優也さん (S-151)

Yuya MIZUNO

1. 近況を教えてください

今年の4月より、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コースで学んでいます。ソロリサイタルやオーケストラとの共演、室内楽では弦楽四重奏やピアノリソでコンサートに出演しました。学ぶことが多く忙しい日々ですが、充実しています。

2. 最近出演された公演で印象深い演奏会についてお聞かせください。

3月に行われた、諏訪内品子音楽監督の「第4回国際音楽祭NIPPON チャリティ・コンサート in 気仙沼」の公演で、初めて被災地を訪れました。会場への移動中の車窓からは、震災から5年経ってもまだまだ復興が進んでいない様子を強く感じました。音楽を通して、何か被災地の皆さんのお役に立てないだろうか…と日頃から思っていたのですが、この公演では気仙沼のお客様からたくさん暖かい拍手をいただき、少しでも僕たちの気持ちを伝える事が出来たかと思うと嬉しかったです。また、諏訪内さんと桐朋学園の学生と一緒に室内楽を演奏し、僕にとっても最高のひと時になりました。

3. 室内楽で演奏される時、大切にされていることはありますか？

室内楽はグループでひとつの音楽を創り上げるので、合わせの回数や練習に費やす時間も重要だと強く感じています。前に勉強したカルテットの曲では、チェロパートどころか、全パートを暗譜してしまうくらい合わせをした事がありました。何度も意見交換をし合って曲を仕上げていくと、本番の達成感も違います。音楽に「これでもいいや…」というものはないと思うので、毎回の合わせではいつも新しい発見があります！

4. チェロを始めたきっかけを教えてくださいますか？

母が、サンサーンスの「白鳥」が好きで、僕に弾いて欲しかったそうです。小学1年生から始めて、母のピアノ伴奏で毎日楽しく練習していました。チェリストになろうと思ったきっかけを教えてください。まだ趣味でチェロを習っていた中学2年生の時、日本音楽コンクールのチェロ部門の本選で聴いた演奏に大変感動して、自分もいつかはこの舞台に立ちたい、と思うようになったのが大きな転機だったと思います。その後から音楽高校への進学を志しました。

チェロの練習が苦しいなと感じられたことはありますか？

毎日長時間練習しても、音楽はスポーツのように記録として出ないので、ハッ

キリと成長しているのが感じられないことが苦しい点だと思います。そして1人で部屋に籠ってなければならぬ孤独感も苦しいです。高校に入ってから今まで、朝練を続けていて、学校は早朝の5時から部屋が使えるので、早いときには5時から練習しています。もちろん眠いですが、高校3年間の朝練がチェロの上達につながったと感じています。しかし、毎日ほんの少しだけでも練習しないと変な感じがするのは、やはりチェロが好きなのだと思います！

5. 一番ワクワクするときは、どんなときですか？

やはり、音程がびったりハマった時ですね！

6. チェロ以外に好きなことはありますか？

最近の僕の流行りは大学の友人と一緒に、朝の5時から投げ放題でボウリングをすることです！身体を動かすこと、スポーツが大好きです。他にリフレッシュ法などはお持ちですか？

子供のようですが・・・頑張った日にはコンビニでスイーツを買って食べるのがとてもリフレッシュになっています。それから、本番前に1人で温泉に行ったりもします。今までの疲れを全て取ってから本番に臨みます。

7. 今後どのようなチェリストとして活動していきたいか教えてください。まだまだ学ぶことが山ほどあります。美しい音を探して試行錯誤の日々ですが、海外での勉強も経験して、数多くの事を学び、息の長い演奏家になりたいです。

まだ留学先は考え中ですが、これから海外のマスタークラスなどに参加して、具体的に決めようと思います。音楽が生まれたヨーロッパなど、現地に実際に足を踏み入れて勉強することで、曲の背景や歴史など肌で感じたいと思っています。

【演奏会情報】

未来に翔たく若きチェリストの響演

日時/2016年11月3日(木・祝) 13:30開場 14:00開演

会場/紀尾井ホール 料金/一般:3,500円 学生:2,500円(全自由席)

出演/菅井瑛斗・熊本一樹・鈴木あさひ・水野優也・森田啓佑・香月 麗・佐山裕樹・

築地杏里・濱田 遼・川岡光一・小林幸太郎

《賛助出演》海野幹雄・玉川 克・宮地晴彦 《ゲスト》宮田 大(以上チェロ)

鷹羽弘晃(ピアノ)

間/サウンド&ミュージック クリエーション TEL 03-5797-5415

〈コンサートの聴きどころ〉

倉田澄子先生の門下生を中心としたメンバーによるチェロアンサンブルです。プロとして活躍されている先輩方とのアンサンブルは、演奏する私たち学生にとっても楽しみです。チェロデュオ、トリオ、カルテットなど、最大16名までのいろんな編成で楽しめます。是非お聴きください！

アウトリーチ／第10回総会開催報告

社会福祉法人“もえぎの会”で実施

実施日：2016年7月23日(土) 12:40 ～

セミが賑やかに合唱をする7月のある日、日本チェロ協会の一員として、目黒の「もえぎの会」の子供たちに音楽を届けてまいりました。会の始まりは、少しざわざわしていたのに、演奏が始まると途端にたくさんの方々が私たちの周りに集まってきてくれました。知っている曲になると大きく体をゆらしながら一緒に歌ったり、リズムに合わせて手を叩いたり。全員が「弾き手」であり、そして全員が「聞き手」のような・・・まるでその場の人たちみんなが手に手を取り歌っているような、とてつもなく大きな波動を肌で感じることができ、その時の感動は今も、熱く胸の中に残っています。

日本チェロ協会は、チェロが好きな私たちが集う会として始まりました。そして世の中にもっと深く、もっと広くチェロの魅力をお伝えする会へと発展してきました。そして今、さらに一歩踏み込んだ域へ進化しようとしています。まだ始まったばかりの小さな芽ですが、チェロの音色で一人でも多くの人を笑顔にしたい。そんな想いを胸に、少しでも社会にご恩返しすることが出来たら、と思います。まだまだ微力ですがこれからもこの活動は、絶やすことなく続けていきたいと思っています。皆さまも、どうぞ応援よろしく願いいたします!! 長谷川陽子(R-053)



第10回総会 開催報告

以下の内容で承認されましたのでご報告いたします。

日時：2016年8月27日(土) 10:00 ～ 11:30

会場：サントリーホール・リハーサル室

出席者：12名(敬称略)

(会長) 堤剛(副会長) 中島顕

(評議委員) 菊地知也、石島栄一、尾崎勝吉

(会員) 赤石裕之、藤井直、松崎松平、三木隆二郎、芳山朋史

(事務局) 渡邊亮、佃香菜子

議 題

1. 役員人事・事務局体制
2. 2015年度活動内容・決算
3. 2016年度活動計画・予算
4. 活動企画・運営計画
5. 意見交換、他

◇2015年度活動内容

- ・評議委員会：2回開催(5月30日、2月18日)
- ・会報発行：2回発行(第44号：8月31日、第45号：2月29日)
- ・HP 運営
 - コンサート情報：58件掲載(昨年比+24件)
 - News&Topics：8件掲載
 - “チェリストを探す”掲載者：23名(昨年比+5名)
- ・アウトリーチ(6月4日[木])：国立成育医療研究センター

- ・チェロサロン開催(5月10日[日] 13:30開講)
 - 講師：菊地知也さん 於：サントリーホール・リハーサル室
 - 参加者数：43名(会員：30名、非会員：6名、スタッフ：7名)
- ・マスタークラス開催(於：サントリーホール)
 - バルビ先生とチェロを学び、音色を楽しむタベ**
 - 日時：10月10日(土) 18:30開講 於：ブルーローズ
 - 来場者：101名(会員：67名、非会員：26名、関係者：8名)
 - シュテファン・コンツと未来のチェロ・マスターたち**
 - 日時：10月24日(土) 18:30開講 於：ブルーローズ
 - 来場者：64名(会員：35名、非会員：14名、関係者：15名)
 - タマーシュ・ヴァルガのオケスタ・サロン**
 - 日時：11月13日(金) 18:30開講 於：リハーサル室
 - 来場者：45名(会員：26名、非会員：14名、関係者：5名)
- ・第6回チェロの日開催(2016年3月20日、3月21日)
 - <1日目>チェロと仲良くなるコンサート
 - 出演者：黒川実咲さん、高木慶太さん、堀了介さん、堀沙也加さん(Vc) 江沢茂敏さん、山崎早登美さん(Pf)、鈴木崇朗さん(Bandoneon)
 - 来場者：152名(会員80名、一般36名、学生5名、招待31名)
 - <2日目>チェロとひとつになるコンサート
 - 指揮：山本祐ノ介さん
 - チェリストの集い参加者：70名(会員53名、学生9名、非会員8名)
 - 来場者：197名(会員143名、一般30名、学生8名、招待16名)
- ・会員数：276名(正会員：209名、学生会員：63名、賛助会員：4名)

◇2016年度活動計画

- ・評議委員会開催 2回(7月21日、秋予定)
- ・会報発行 2回発行予定(47号：夏頃、48号：3月予定)
- ・ホームページ運営
- ・チェロサロン開催 1～2回
- ・マスタークラス 1～2回
- ・第7回チェロの日 2017年1月28日～1月29日
- ・アウトリーチ実施 1～2回

※予算決算につきましては、別紙をご参照ください。

◆役員人事

- (会長) 堤 剛 (副会長) 中島顕、堀了介
(書記) 山崎伸子
(評議委員) 上村昇、荻田雅治、菊地知也、倉田澄子、河野文昭、斎藤建寛、長谷川陽子、児玉真、石島栄一、尾崎勝吉
(監事) 藤井直、芳山朋史
(事務局) 尾崎勝吉〔事務局長〕、高崎森久〔事務局次長〕、渡邊 亮〔マネージャー／企画制作〕、佃 香菜子〔専任スタッフ〕 田中彩希子



会員の出演・主催する演奏会などをご案内いたします

【CD】J. S. バッハ：ガンバ・ソナタ集 チェロ／横坂源

価格／¥2,600(本体) +税 規格番号／ WPCS-13535

クラシック界のニュー・スター チェリスト 横坂 源、待望の初録音。

骨太で力強く、歌心あふれるイマジネーションで魅せるガンバ・ソナタ集。

チェロとピアノの 華麗なるショパンの 名曲のタベ

日 時／2016年11月1日(火) 18:30開演

会 場／大阪 カワイ梅田コンサートサロン “Jouer” / ジュエ

入場料／全席自由 一般：3,000 学生：2,500 (前売 一般：2,500 学生：2,000)

問 合／ <https://www.kawai.jp/event/detail/611/>

出 演／藤田ほのか(Vc)、藤田めぐみ(Pf)

曲 目／ショパン：チェロ・ソナタ ト短調 Op.65

夜想曲第13番 作品48-1 ハ短調

アンダンテ・スビアナートと華麗なる大ボロネーズ 作品22

デュオハヤシ フレンドリー・コンサート

日 時／2016年11月3日(木) 15:00開演

会 場／ヒルサイドプラザ・ホール 〔代官山〕

入場料／全席自由：4,100

問 合／tel. 079-428-1699 (中村)

出 演／林俊昭(Vc)、林由香子(Pf)

曲 目／ベートーヴェン：チェロとピアノのためのソナタ 第5番 ニ長調 p.102-2

「魔笛」の主題による7つの変奏曲 変ホ長調 Wo0.46

シューマン：5つの民謡風の小品集 Op.102より

ブラームス：スケルツォ「F.A.E.ソナタ」第3楽章

ブルッフ：コロニドライ Op.47 他

中木健二 J.S. バッハ 無伴奏チェロリサイタル

日 時／2016年11月29日(火) 19:00開演

会 場／王子ホール(銀座)

入場料／全席指定 一般：4,000 学生：2,500

問 合／E アーツカンパニー info@earts.jp

曲 目／J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番 ト長調 BWV1007

第4番 変ホ長調 BWV1010

第5番 ハ短調 BWV1011

Trio Espace ～Fete des Vendanges 収穫祭 vol.6

日 時／2016年12月2日(金) 19:00開演

会 場／王子ホール(銀座)

入場料／一般：4,000 学生：2,500

問 合／アートワイン 03-3262-0076

出 演／佐藤勝重(Pf)、相川麻里子(Vl)、植木昭雄(Vc)

曲 目／W. A. モーツァルト：ピアノ三重奏曲 ト長調 K.564

S. ラフマニノフ：ピアノ三重奏曲 第1番 ト短調「悲しみの三重奏曲」

A. アレンスキー：ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 Op.32

上森祥平×J.S. バッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会

日 時／2016年12月10日(土) 17:30開演

会 場／ヒビキミュージックサロンリーヴズ

入場料／全席指定 当日：4,000 前売：3,500

問 合／ヒビキミュージック 06-6363-3060

曲 目／J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲全6曲

Chamber Music Assort on X'mas

日 時／2016年12月24日(土) 15:00開演

会 場／サロン テッセラ

入場料／全席自由：1,000(ワインサービス付き)

問 合／公式 HP <https://sites.google.com/site/cmaxmas2016/>

出 演／浜野範子(Pf)、渥美慶子(Vn)、原田武雄(Vla/Vn)、水田巴(Vc)

曲 目／モーツァルト：ピアノ四重奏曲第1番 ト短調

ブラームス：ピアノ四重奏曲第3番 ハ短調

バッハ：無伴奏チェロ組曲第3番より 他

佐藤桂菜 ほか 4組のジョイントコンサート 第14回クリスマスコンサート

日 時／2016年12月25日(日) 14:00開演

会 場／5/R Hall & Gallery

入場料／一般：3,000 大学生以下：2,000

問 合／音楽ネットワーク「えん」代表 佐伯 隆 090-4598-0153

出 演／佐藤桂菜(Vc)、飯田あかね(Pf) 他

曲 目／ポッパー：演奏会用ボロネーズ 他

高円宮殿下メモリアル第17回日本マスターズオーケストラキャンプ 初春コンサート

日 時／2017年1月9日(月) 13:30開演

会 場／京都府立府民ホール・アルティ

入場料／入場無料(要整理券)

官製はがきまたはメールで、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢、希望枚数を明記の上、お申し込みください。先着順受付、入場整理券が無くなり次第終了。応募締め切りは2016年12月16日到着まで。

問 合／公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟 info@jao.or.jp

出 演／安永徹、井野邊大輔、80人編成の弦楽オーケストラ

曲 目／エルガー：弦楽のためのセレナード ホ短調

ブルックナー間奏曲

チャナーチェック：弦楽オーケストラのための組曲

ブッチーニ：弦楽四重奏曲「菊」

ウォーロック：カプリオール組曲

Sound of the Sky 早川りさこ&植草ひろみ

日 時／2017年1月5日(木) 14:00開演

会 場／東京文化会館小ホール

入場料／全席指定：4,000

問 合／マネジメント プランニングオフィスネイチャ 045-433-6274

出 演／早川りさこ(Hp)、植草ひろみ(Vc)

曲 目／ピアソラ：Cafe1930、ショパン：ノクターン Op.9-2

A. ギャニオン：明日、サン＝サーンス：白鳥 他

伊藤七生・山岸麻悠美 Cello&Piano デュオリサイタル

日 時／2017年2月25日(土) 15:00時開演

会 場／タカギクラヴィア松濤サロン

入場料／全席自由：2,500

問 合／03-4291-1962(山岸)、メール：duo.since2008@gmail.com

出 演／伊藤七生(Vc)、山岸麻悠美(Pf)

曲 目／シューマン：アダージョとアレグロ

ラフマニノフ：ヴォカリーズ

J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番より

メンデルスゾーン：チェロソナタ第2番 ニ長調 作品58 他